

## 気候情報

# 2004年3月の日本の天候

気温の変動大きい(全国)、少雨(北日本の太平洋側)、多雪(日本海側)

### 3月の天気概況

全国的に気温の変動が大きかった。上旬は大陸から強い寒気が入って全国的に気温が低く、日本海側では大雪となったところがあったが、上旬末から中旬にかけては、移動性高気圧に覆われる日が多く、全国的に気温が高くなった。中旬末から、本州南岸を低気圧が通過することが多くなり、気温は平年並程度まで下がったが、下旬の後半は移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れて暖かい日が多かった。

**上旬：**前月29日から1日に前線が南下した後、大陸から寒気が入って全国的に気温が下がり、日本海側で大雪となった日があった。6日に発達した低気圧が通過した後も強い寒気が入ったが、旬末には冬型の気圧配置が緩み、気温が上昇した。**旬平均気温**は、全国的に低かった。**旬降水量**は、東・西日本の太平洋側で少なく、ほかは平年並だった。**旬日照時間**は、北日本と東日本の日本海側で少なく、東・西日本の太平洋側で多かった。

**中旬：**旬の初めに発達した低気圧が日本の北を通過し、強い南風により全国的に気温がかなり高くなった。その後は、移動性高気圧に覆われ全国的に晴れて気温の高い日が多くなった。17日から18日にかけても発達した低気圧が日本の北を通過し、強い南風により全国的に高温となった。**旬平均気温**は、全国的に高く、東・西日本ではかなり高かった。**旬降水量**は、北日本の日本海側で多かったほかは少ないところが多かった。**旬日照時間**は、北日本の日本海側で少なく、東・西日本の日本海側と南西諸島で多かった。

**下旬：**旬の前半は北日本や東・西日本の日本海側は移動性高気圧に覆われて晴れたが、東・西日本の太平洋側では低気圧や前線の影響で天気がぐずついた。旬の後半は全国的に移動性高気圧に覆われ、晴れて暖かい日が多かった。**旬平均気温**は、南西諸島では平年並で、そのほかは高かった。**旬降水量**は、北日本と東日本の日本海側で少なく、東日本の太平洋側と西日本で多かった。**旬日照時間**は、北日本と東日本の日本海側で多く、南西諸島で少なかった。

### 3月の気候統計

**平均気温：**寒暖の変動が大きかったものの、月平均気温ではほぼ全国で平年を上回った。

**降水量：**北日本の太平洋側を中心に平年を下回ったところが多かった。特に北海道の東部、東北の一部、南西諸島では、平年の40%未満のところがあった。大船渡(岩手県)、山形(山形県)、仙台(宮城県)、福島(福島県)、長野(長野県)で月降水量の最小値を更新した。

**日照時間：**北海道の一部で平年を下回ったほかは、平年を上回った。東日本、西日本の日本海側では、平年の120%以上となったところがあった。

**降雪・積雪：**降雪の深さ合計は、東北の一部と西日本の日本側で平年を上回った。月最深積雪は、北海道の東部および東北の一部、西日本の日本海側で平年を上回ったところがあった。

(気象庁観測部統計室)

### 3月の記録(1位更新のみ)

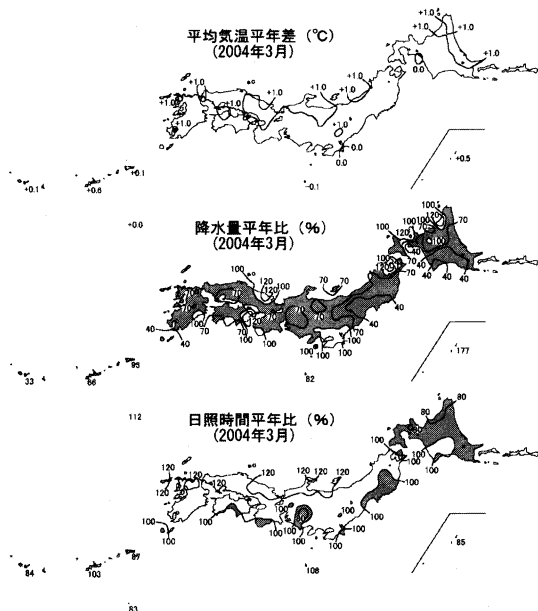
#### ・月降水量の少ない方から(mm)

大船渡 28.5 山形 17.0 仙台 12.5  
福島 13.0 長野 19.5

#### ・降雪の深さの月合計多い方から(cm)

金沢 48 銚子 1(タイ記録)

### 2004年3月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す